



## 2026年5月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2026年7月9日

上場会社名 メディアファイブ株式会社

上場取引所 福

コード番号 3824 URL <https://www.media5.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 活

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 上野 瑠

TEL 092-762-0555

定時株主総会開催予定日 2026年8月27日

配当支払開始予定日

2026年8月28日

有価証券報告書提出予定日 2026年8月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年5月期の業績(2025年6月1日～2026年5月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期	1,795	4.4	65	78.3	63	9.8	41	29.9
2025年5月期	1,719	0.6	36	288.5	70		59	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年5月期	44.33		10.6	8.3	3.6
2025年5月期	63.22		17.3	10.5	2.1

(参考) 持分法投資損益 2026年5月期 百万円 2025年5月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年5月期	834	410	49.2	436.57
2025年5月期	700	373	53.3	397.24

(参考) 自己資本 2026年5月期 410百万円 2025年5月期 373百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年5月期	136	15	23	486
2025年5月期	92	11	17	388

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2026年5月期		0.00		5.00	5.00	4	7.9	1.4
2027年5月期(予想)		0.00		15.00	15.00	14	33.8	3.6
				10.00	10.00		21.9	

(注) 1. 2026年5月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 5円00銭(創立30周年)

2. 2026年5月期における1株当たり期末配当金については、10円から15円に変更しております。詳細については、本日(2026年7月9日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2027年5月期の業績予想(2026年6月1日～2027年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	922	4.0	21	27.6	19	33.5	13	28.1	19.23
通期	1,860	3.6	67	3.6	65	3.3	43	3.2	44.33

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年5月期	986,000 株	2025年5月期	986,000 株
期末自己株式数	2026年5月期	46,000 株	2025年5月期	46,000 株
期中平均株式数	2026年5月期	940,000 株	2025年5月期	940,000 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更に関する注記)	12
(持分法損益等の注記)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	18
(重要な後発事象の注記)	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要により、国内景気は引き続き緩やかな回復傾向で推移しております。一方で、世界的な物価上昇、金融資本市場の変動、アメリカの通商政策の影響に加え、地政学的リスク等により、経済活動に影響を与える要因が残っており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する情報サービス業界においては、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）に対する投資需要は継続しており、生成AIの活用拡大等を背景に、社会全体としてIT活用の流れが一層増加し、慢性的にIT人材が不足している状況にあります。

このような環境の中、当社では、東京支店を銀座から秋葉原へ移転し、ITエンジニア育成研修の拡大を目指し、「アキバ・テックドリーム・アカデミー」を開校、未経験者や新規学卒者を積極的に採用し、育成に注力しております。また、技術力の向上、ワークライフバランスの向上を図ることで、優秀な人材の囲い込みを図っております。加えて子育て世代の両立支援をはじめ、誰もが働きやすい職場づくりの一環として「メディアファイブ保育園学院」の運営も行っており、地域貢献度の向上にも寄与しております。

主要事業であるSES事業は、ITエンジニアの需要が高まっていることを背景として、新規取引先の獲得及び既存取引先における契約単価交渉を行ってまいりました。

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、安定的にシステム開発案件を受注しております。引き続き、中小企業のITを支援する「OFFICE DOCTOR」サービスを軸にワンストップ型ソリューション提案を推し進めております。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高1,795,757千円（前事業年度は1,719,341千円）、売上総利益618,268千円（同617,300千円）、営業利益65,138千円（同36,525千円）、経常利益63,398千円（同70,316千円）、当期純利益41,672千円（同59,429千円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### ①SES事業

主要事業であるSES事業は、高度IT人材の育成、技術力向上に注力するとともに、取引先への契約単価交渉や戦略的な配置転換を行ってまいりました。その結果、当事業年度における売上高は1,675,273千円（前事業年度は1,533,759千円）、セグメント利益は419,113千円（同349,225千円）となりました。

#### ②ソリューション事業

ソリューション事業は、前事業年度に引き続き、中規模・小規模のシステム開発案件の受注、中小企業のITを支援する比較的ライトな「OFFICE DOCTOR」サービスの提供を安定的に行っております。また、今後の業容拡大を目指し営業活動に注力してまいりました。その結果、当事業年度における売上高は120,484千円（同185,582千円）、セグメント利益は12,349千円（同44,327千円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## 資産・負債・純資産の状況

## (資産)

資産合計は834,658千円（前事業年度末比134,418千円増）となりました。

流動資産については、現金及び預金486,913千円（同97,958千円増）、売掛金168,137千円（同20,999千円増）、前払費用9,805千円（同582千円減）等により682,275千円（同113,153千円増）となりました。

固定資産については、有形固定資産21,344千円（同6,197千円増）、無形固定資産11,584千円（同4,614千円減）、保険積立金23,081千円（同1,775千円増）、敷金及び保証金34,342千円（同1,705千円減）、繰延税金資産51,757千円（同18,214千円増）等により152,382千円（同21,265千円増）となりました。

## (負債)

負債合計は424,282千円（前事業年度末比97,446千円増）となりました。

流動負債については、1年内返済予定の長期借入金20,280千円（同1,560千円増）、未払金16,440千円（同2,634千円増）、未払費用171,850千円（同50,996千円増）、未払法人税等42,221千円（同35,630千円増）、未払消費税等33,934千円（同7,081千円増）、預り金31,729千円（同467千円減）等により356,962千円（同117,726千円増）となりました。

固定負債については、長期借入金67,320千円（同20,280千円減）により67,320千円（同20,280千円減）となりました。

## (純資産)

純資産合計は410,375千円（前事業年度末比36,972千円増）となりました。

その主な内訳は、配当金4,700千円の支払による利益剰余金の減少及び当期純利益41,672千円の計上による利益剰余金の増加であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、486,913千円（前事業年度末は388,954千円）となりました。

当事業年度におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は136,671千円（同92,427千円）となりました。これは、税引前当期純利益61,547千円、減価償却費10,456千円、売上債権の増加額12,490千円、棚卸資産の増加額4,716千円、未払費用の増加額50,996千円、未払消費税等の増加額7,081千円、契約負債の増加額23,615千円、法人税等の支払額4,122千円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は15,361千円（同11,540千円の獲得）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出12,478千円、従業員に対する貸付けによる支出3,000千円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は23,351千円（同17,160千円）となりました。これは、長期借入金の返済による支出18,720千円、配当金の支払額4,631千円等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

次期につきましては、世界的な物価上昇、アメリカの政策動向等に加え、地政学的リスク等の影響が継続し、依然として先行き不透明な状況が懸念されます。また、当社の属する情報サービス業界においては、慢性的なIT人材不足が想定されます。

そのような環境の中、主要事業の業績向上の源泉となるITエンジニアの採用・確保のため、処遇改善等の施策を行うことで人材確保に注力してまいりましたが、ITエンジニアの採用競争は一層激化し、採用環境は従前の予想以上に厳しい状況が続くと考えられます。

このような状況から、今後を見据えた業務の再設計を行った結果、当社の最大の特徴であるIT人材育成に関する取り組みの実効性を強化し、未経験者向けプログラミングスクール「アキバ・テックドリーム・アカデミー」の運営の最適化を図り、持続的かつ発展的に利益を生み出せる企業体へと進化することを目指します。

新たな中期計画につきましては、今後を見据えた施策等を検討した後に速やかに開示させていただきます。なお、次期(2026年6月1日~2027年5月31日)の業績予想といたしましては、現時点での経済活動を前提として算定しておりますが、売上高1,860百万円、営業利益67百万円、経常利益65百万円、当期純利益43百万円を見込んでおります。

上記の見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年5月31日)	当事業年度 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	388,954	486,913
売掛金	147,137	168,137
契約資産	8,508	-
仕掛品	2,891	7,693
貯蔵品	261	175
未収入金	6,970	6,446
前払費用	10,388	9,805
その他	4,635	3,688
貸倒引当金	△625	△583
流動資産合計	569,122	682,275
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,808	9,097
車両運搬具（純額）	0	6,779
工具、器具及び備品（純額）	5,338	5,467
建設仮勘定	-	0
有形固定資産合計	15,146	21,344
無形固定資産		
ソフトウェア	6,840	11,474
ソフトウェア仮勘定	9,248	-
電話加入権	110	110
無形固定資産合計	16,199	11,584
投資その他の資産		
長期前払費用	1,996	1,934
保険積立金	21,305	23,081
敷金及び保証金	36,048	34,342
従業員に対する長期貸付金	862	2,322
繰延税金資産	33,543	51,757
その他	6,014	6,014
投資その他の資産合計	99,771	119,453
固定資産合計	131,117	152,382
資産合計	700,239	834,658

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年5月31日)	当事業年度 (2026年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,673	1,380
1年内返済予定の長期借入金	18,720	20,280
未払金	13,805	16,440
未払費用	120,853	171,850
未払法人税等	6,590	42,221
未払消費税等	26,852	33,934
契約負債	14,479	38,094
預り金	32,196	31,729
その他	1,064	1,033
流動負債合計	239,236	356,962
固定負債		
長期借入金	87,600	67,320
固定負債合計	87,600	67,320
負債合計	326,836	424,282
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	198,925	198,925
資本剰余金		
資本準備金	164,625	164,625
資本剰余金合計	164,625	164,625
利益剰余金		
利益準備金	40	40
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	18,636	55,608
利益剰余金合計	18,676	55,648
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	373,403	410,375
純資産合計	373,403	410,375
負債純資産合計	700,239	834,658

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当事業年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
売上高	1,719,341	1,795,757
売上原価	1,102,040	1,177,488
売上総利益	617,300	618,268
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	30,405	23,072
役員報酬	96,750	93,900
従業員給料	157,779	144,097
従業員賞与	29,765	35,418
法定福利費	33,000	32,034
旅費及び交通費	20,335	19,814
地代家賃	51,488	49,945
減価償却費	5,954	9,807
支払報酬	19,820	19,349
貸倒引当金繰入額	△64	△41
その他	135,539	125,731
販売費及び一般管理費合計	580,775	553,130
営業利益	36,525	65,138
営業外収益		
受取利息	152	555
受取配当金	40,000	-
保育事業収益	52,909	49,589
雑収入	1,596	876
営業外収益合計	94,657	51,020
営業外費用		
支払利息	1,407	1,242
保育事業費用	54,057	51,519
地代家賃	5,402	-
営業外費用合計	60,867	52,761
経常利益	70,316	63,398
特別利益		
関係会社株式売却益	1,550	-
特別利益合計	1,550	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	1,509	1,850
特別損失合計	1,509	1,850
税引前当期純利益	70,356	61,547
法人税、住民税及び事業税	4,631	38,090
法人税等調整額	6,295	△18,214
法人税等合計	10,927	19,875
当期純利益	59,429	41,672

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	198,925	164,625	164,625	40	△40,793	△40,752	△8,823	313,974
当期変動額								
剰余金の配当								
当期純利益					59,429	59,429		59,429
当期変動額合計	-	-	-	-	59,429	59,429	-	59,429
当期末残高	198,925	164,625	164,625	40	18,636	18,676	△8,823	373,403

	純資産合計
当期首残高	313,974
当期変動額	
剰余金の配当	
当期純利益	59,429
当期変動額合計	59,429
当期末残高	373,403

当事業年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	198,925	164,625	164,625	40	18,636	18,676	△8,823	373,403	
当期変動額									
剰余金の配当					△4,700	△4,700		△4,700	
当期純利益					41,672	41,672		41,672	
当期変動額合計	-	-	-	-	36,972	36,972	-	36,972	
当期末残高	198,925	164,625	164,625	40	55,608	55,648	△8,823	410,375	

	純資産合計
当期首残高	373,403
当期変動額	
剰余金の配当	△4,700
当期純利益	41,672
当期変動額合計	36,972
当期末残高	410,375

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当事業年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	70,356	61,547
減価償却費	7,182	10,456
減損損失	1,509	1,850
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△53	△41
受取利息及び受取配当金	△40,152	△555
支払利息	1,407	1,242
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,550	-
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,270	△12,490
棚卸資産の増減額 (△は増加)	12,332	△4,716
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,005	△3,293
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,274	50,996
未払消費税等の増減額 (△は減少)	235	7,081
未払金の増減額 (△は減少)	△4,506	2,634
預り金の増減額 (△は減少)	12,563	△467
契約負債の増減額 (△は減少)	6,458	23,615
その他	2,042	3,619
小計	60,287	141,481
利息及び配当金の受取額	40,152	555
利息の支払額	△1,407	△1,242
法人税等の支払額	△6,604	△4,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,427	136,671
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,797	△12,478
無形固定資産の取得による支出	△9,248	-
敷金及び保証金の差入による支出	△602	△440
敷金及び保証金の回収による収入	13,096	865
関係会社株式の売却による収入	10,000	-
従業員に対する貸付けによる支出	-	△3,000
従業員に対する貸付金の回収による収入	2,091	1,468
保険積立金の積立による支出	-	△1,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,540	△15,361
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	200,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△17,160	△18,720
配当金の支払額	-	△4,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,160	△23,351
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	86,808	97,958
現金及び現金同等物の期首残高	302,146	388,954
現金及び現金同等物の期末残高	388,954	486,913

(5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)  
該当事項はありません。

(持分法損益等の注記)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社及び東京支店にサービス別の事業部門を設置し、各事業部門は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、事業部門を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「SES事業」及び「ソリューション事業」を報告セグメントとしております。

「SES事業」は、プログラマ、システムエンジニア等のITエンジニアを顧客へ提供し、業務支援を行う事業です。また、東京地区を中心に、大規模なシステムの運用・サポート業務を行う事業です。

「ソリューション事業」は、顧客が要求するシステムについて、ソフトウェア開発を受託する事業です。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前事業年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位:千円)

	S E S 事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,533,759	185,582	1,719,341
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,533,759	185,582	1,719,341
セグメント利益	349,225	44,327	393,553
セグメント資産	152,154	13,770	165,924
その他の項目			
減価償却費	2,388	1,115	3,503
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	2,725	2,725

当事業年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

(単位:千円)

	S E S 事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,675,273	120,484	1,795,757
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,675,273	120,484	1,795,757
セグメント利益	419,113	12,349	431,462
セグメント資産	158,544	20,616	179,160
その他の項目			
減価償却費	2,388	611	2,999
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	1,347	1,347

## 4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	1,719,341	1,795,757
セグメント間取引消去	—	—
財務諸表の売上高	1,719,341	1,795,757

(単位：千円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	393,553	431,462
セグメント間取引消去	—	—
全社費用（注）	△ 357,027	△ 366,324
財務諸表の営業利益	36,525	65,138

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	165,924	179,160
セグメント間取引消去	—	—
全社資産（注）	534,315	655,497
財務諸表の資産合計	700,239	834,658

(注) 全社資産は、各報告セグメントに配分していない全社資産及び管理部門の資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	3,503	2,999	3,678	7,457	7,182	10,456
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,725	2,299	10,320	20,838	13,045	23,138

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産及び管理部門の資産に係る減価償却費であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産及び管理部門の資産の増加額であります。

## 【関連情報】

前事業年度(自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
楽天銀行株式会社	324,299	S E S 事業
株式会社インフォメーション・ディベ ロップメント	211,947	S E S 事業

当事業年度(自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
楽天銀行株式会社	408,555	S E S 事業
株式会社インフォメーション・ディベ ロップメント	199,512	S E S 事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

(単位：千円)

	SES事業	ソリューション 事業	全社・消去	合計
減損損失	—	1,509	—	1,509

当事業年度（自 2025年6月1日 至 2026年5月31日）

(単位：千円)

	SES事業	ソリューション 事業	全社・消去	合計
減損損失	—	1,850	—	1,850

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2025年6月1日 至 2026年5月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2025年6月1日 至 2026年5月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報の注記)

	前事業年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当事業年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり純資産額	397.24円	436.57円
1株当たり当期純利益	63.22円	44.33円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2025年5月31日)	当事業年度 (2026年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	373,403	410,375
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	－	－
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	373,403	410,375
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	940,000	940,000

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)	当事業年度 (自 2025年6月1日 至 2026年5月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	59,429	41,672
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益(千円)	59,429	41,672
期中平均株式数(株)	940,000	940,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

## (重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。